



平成 29 年度 錦田小学校区  
第2回地域コミュニティ連絡会のまとめ



10月10日（火）に開催された「平成29年度錦田小学校区第2回地域コミュニティ連絡会」にご出席いただきまして、誠にありがとうございました。当日の発言や意見をまとめた資料ができましたので、送付いたします。（三島市のホームページにも掲載しています）

■開催概要■

日時	平成29年10月10日（火）19:00～20:45		
会場	錦田公民館		
参加団体  (26名)	小山中島自治会 押切町内会 谷田城の内自治会 東富士見自治会 並木自治会 市営柳郷地住宅自治会 三島市立錦田保育園	錦田幼稚園 錦田小学校 錦田小学校PTA 錦田中学校 錦田中学校PTA スクールガード 子ども会連合会	東富士見子ども会 環境美化推進委員会 スポーツ推進員 体育振興会 保健委員会 三島市社会福祉協議会

■次第■

開会・市長あいさつ

- 1 「地域コミュニティ連絡会について」
- 2 「地域の取組み事例紹介」
- 3 「地域の情報を共有しよう」
- 4 「計画案で実践できることを考えよう！」
- 5 「アンケート記入」



## 「地域の情報を共有しよう」のまとめ

今回の「地域の情報共有」では、小学校区の年間スケジュール表や各団体から出された情報を参考にしながら、各団体間の情報を共有しました。

### ○「小学校区の年間スケジュール表」について

同じ小学校区内で活動する団体の行事や活動の予定等を各団体と共有し、日程調整等のために活用していただくことを目的に、本年度から小学校区内の団体等の年間スケジュール表を作成しています。第2回連絡会では、第1回連絡会后にいただいた予定等も追加して、参加者に配布しています。

### ■主な情報共有の内容

団体	情報の概要
小山中島自治会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館建設と老人会設立を検討しています。</li> <li>・避難所運営委員会をきっかけに、訓練内容を工夫したら訓練の参加者が増えました。また、今年は、運動会の参加者も増えて良かったです。</li> <li>・サロンのことについて、先進地や社協にいろいろ聞いていきたいです。</li> </ul>
押切町内会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存の祭りや行事を盛り上げるべく、試行錯誤しています。</li> <li>・10/1の校区運動会に23町内中8町内しか参加しないので、さみしいです。</li> <li>・錦田地区の町内会長OBで“住みよい錦田をつくる会”を結成し、コミュニティバスのルート、ファシリティマネジメントについて話し合いました。手狭になっている錦田公民館の改築や、移動手段について知恵を出し合っていきたいです。</li> </ul>
谷田城の内自治会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内は高齢化が進んでいますが、できることは協力していきたいです。</li> </ul>
東富士見自治会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9/3に組対抗ソフトバレーボール大会を開催しました。幼児からお年寄りまで約50人が参加してくれました。</li> <li>・10/15に自主防災訓練を開催します。炊き出しやジャッキなどを訓練します。</li> <li>・1/21に6年生を送る会を行います。約50人で御殿場方面へ行く予定です。</li> <li>・町内に0～12歳が47人おり、うち小学生が30人弱です。健全育成会が子どもの行事等を運営していますが、親子が受け身になってしまっています。</li> <li>・高齢者対象の麻雀等もやっています。</li> </ul>
並木自治会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10/12の9:30から並木自治会館で喫茶店をやります。</li> <li>・校区の運動会は41回も続いて素晴らしいです。今後も継続したいです。</li> </ul>
錦田保育園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども達がどんぐり拾いなどで地域を歩くので、声を掛けてください。</li> </ul>
錦田幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全園児で138人は通園しています。</li> <li>・地域に出て行くのは難しいですが、ぜひ出て行きたいと考えています。</li> <li>・地域の皆さんに虫捕りなどができる所を聞いて、行ってみたいです。</li> </ul>
錦田小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6/2の集団下校時に町内会長と顔合わせができました。</li> <li>・学校西側のT字路の旗振りを手伝ってくださるとありがたいです。</li> </ul>
錦田小学校 PTA	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バザーに集まる品が減ってしまっています。ぜひ協力をお願いします。</li> <li>・環境整備を学校支援地域本部と協力してやっていきたいです。</li> </ul>

団体	情報の概要
錦田中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 9/29～30 に開催した桜風祭に地域の方が来てくれて良かったです。</li> <li>・ 10/27 に錦田小、錦田中、坂小の校区で「豊かな心を育てる会講習会」を開催し、沼津港深海水族館館長が講演してくれます。ぜひご参加ください。</li> <li>・ 古紙回収を常時できるように、学校に回収コーナーを設置しました。ぜひご協力ください。</li> </ul>
錦田中学校 PTA	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 錦田だけでなく坂、向山、東の各小学校区にも情報提供していきたいです。</li> <li>・ 11/3 にバザーを開催します。連絡いただければ受け取りに行きますので、ぜひご協力ください。</li> </ul>
スクールガード	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交通事故が 3 件立て続けに発生しました。夏梅木方面から来る車の飛び出しとスピードの出しすぎが原因です。子どもの登校と重なったらとても危険なので、自治会長に相談しようと思っています。</li> </ul>
市子連	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 親が負担感を感じて子ども会に入る子が少なくなっています。自治会に協力してもらおうなど、工夫してほしいです。</li> </ul>
スポーツ推進員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 校区の運動会を楽しんでもらえたのではないかと思います。野菜を賞品にしたら盛り上がりました。</li> <li>・ ソフトバレーや他の面白いスポーツを地域の皆さんで楽しんでほしいです。</li> </ul>
体育振興会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 10/1 に校区の運動会が無事に終わって良かったです。花火の燃えカスが田んぼに落ちてクレームが出たことが課題です。</li> </ul>
保健委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分の町内会だけでなく、地区や市全域に情報発信できるとよいと思います。</li> </ul>
三島市 社会福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 三島市から受託し、「生活支援コーディネーター」の役割を担っています。</li> <li>・ 高齢者のサロン等の“居場所”づくりに力を入れています。</li> <li>・ 地域の困りごとの相談も受け付けますので、お気軽にご相談ください。</li> </ul>

■小学校区の年間スケジュール表の追加・修正内容

日にち	団体名	行事・活動等
10月12日	並木自治会	■交流喫茶なみき（9:30～）
10月22日	保健委員会	■ノルディックウォーキング（9:30～13:00／@山中城跡） 初級コース（無料）と上級コース（有料）があります。保健センターに申し込んでください。

## 「計画案で実践できることを考えよう！」のまとめ

### ■旗揚げアンケートの結果

「きずながつくる協働の取組み計画案」に掲載されている取組みのうち、昨年度第2回連絡会で投票数の多かった取組みの中から、参加者自身が話し合いたいテーマを旗揚げアンケート方式で把握しました。

錦田小の“あいさつチャンピオン”や錦田中の“あさげ運動”に地域全体で取り組む。	6
災害時に中高生が活躍する（できる）場面を確認する。	7
老人会と子ども会の連携を継続・活性化する。	11

その後、選択したテーマごとにグループを作り、第1回連絡会の意見を踏まえて、グループ別に意見交換を行いました。各グループの意見のまとめは、次ページ以降に整理します。



# 錦田小の“あいさつチャンピオン”や錦田中の“あさげ運動”に地域全体で取り組む。

目的  
(何のため?)

- ・お互いに知り合うための一歩
- ・どんな人（親、近所の人、学校の人）でもあいさつできるように
- ・子どもは「このような場面ではあいさつするんだ」という経験が必要
- ・人を知る雰囲気づくり
- ・人と人のスムーズな関係をつくるため。

そもそも“あいさつチャンピオン”  
“あさげ運動”とは？

- ・大きな声であいさつできる子を年2回クラスで選ぶ
- ・子ども達にあいさつの習慣をつけてもらうことが目的。
- ・あいさつの声で子どものことが分かる

子どもたちの挨拶の現状

- ・1人で歩いている子はあいさつするが、複数だと返ってこない
- ・恥ずかしいのか、誰に言われているかわからないのか…

やってみたいこと

- ・あいさつしない大人に対してあいさつしない理由を聞いてみたい

どんな方法で？

- 既存のあいさつ運動を拡大
  - ・一斉あいさつ運動（年5回）輪を広げる！
- 桜寿会をモデルに！
  - ・（事例）桜寿会のようなあいさつ運動をする
  - ・桜ヶ丘の老人会の活動をモデルにする
- 根気よく続ける
  - ・根気よくあいさつする
- 子どもよりも大人があいさつしてほしい
  - ・卒園児ではなくてもあいさつをしてくれている。保護者の方が少ない
  - ・保護者にもしてほしい
- 自分からあいさつ
  - ・自分の方から声を掛けると声が帰ってくるようです
  - ・すれ違う時には軽く頭を下げてあいさつする習慣にする。年齢関係なく
  - ・本当は背中を押して欲しいのでは（リタイヤした方が多く居る）
- 家庭から
  - ・家庭の中から。表情・明るく

解決策のアイデア

- ・一斉あいさつ運動で半強制的にやる
- ・地域の班長さんなどに頼めばやってくれる
- ・上手に話をする（うまく伝える）
- ・朝、見学会をやれば刺激になる
- ・家から学校までの間にあいさつした人数を競争する

## 災害時に中高生が活躍する(できる)場面を確認する。

- ・場面は様々
- ・場面ごとに役割が違う
- ・活躍してもらう

目的  
(何のため?)

- ・防災の関心を高めるため
- ・復旧作業
- ・中高生はまず自分の命は自分で守る
- ・地域にできる人ができる事をする！(中高生は自助が一番)

### 災害時に中高生が活躍できるのはどんな場面？

#### 地域の考え

- ・自主防災会の指示で動く
- ・情報伝達などしたらどうか
- ・そもそも備蓄品は誰の為のものなのか？他地域住民を想定しないのか？

#### 保護者の考え

- ・避難所のサポート

### クリアすべき課題は？

- ・どの場面で参加させるか
- ・まず自分の命を守ることが第一
- ・子どもたちを指導する人が必要
- ・学校ではなく、地域から責任者を！

### 実際に活躍するために、どんな取り組みが必要か？

#### ●中高生の防災教育・防災訓練への参加

- ・災害のための教育が必要
- ・地域の訓練の質を上げる
- ・各地区の訓練への主体的な参加(出席しました！にとどまらない内容)
- ・地域が指導する場をつくる

#### ●中高生の安全性の確保

- ・危険が伴わないようなこと

#### ●中高生に任せること、指示系統の明確化

- ・自主防災会が機能しにくい時間帯(平日昼間)に、誰が中心的役割を担う？
- ・指示系統の統一化
- ・学校、地域で指示→明確化する

#### 学校・保育園の考え

- ・中高生は園内の災害現場で、園児にとって親しみやすい対象であると思う。混乱が起きにくいという良さがある
- ・保育園側としては、園児と遊ぶ、避難所設置の手伝いをお願いしたい
- ・生徒同士、協力しあう活動が日常的に行われているので、園内に来て頂ければ大きな力になってくれると思う
- ・乳児を任せるのは難しいが、大きな子と遊んでもらうのは良さそう
- ・親が来るまでの食事の配給や学校(避難所)との連絡係をお願いしたい
- ・水や食事の運搬をお願いしたい
- ・学校は地域の訓練に参加するように指導している

#### 中高生が得意そうなこと

- ・ツイッターで情報収集するのは得意。
- ・荷物の運搬
- ・連絡係

## 老人会と子ども会の連携を継続・活性化する。

目的  
(何のため?)

●お互いの負担軽減

●高齢者の孤立防止・生きがいづくり

●顔見知りになる・世代間交流

●知識・経験の伝達

### 老人会の現状・課題

- 老人会の高齢化・男性会員の減少
  - ・老人会に男性がいない
  - ・老人の高齢化
  - ・老人会も子ども会も入らない方が多い
  - ・高齢化で存続できないため孤立
  - ・既存の活動に単身で入り込む勇氣
- 老人会がない
  - ・老人会がない。町内に必要性を訴える
  - ・自治会には老人会がない
- 高齢者の孤立化
  - ・高齢者の連携がない
  - ・ひきこもりのお年寄りが多く、外出するきっかけがない

### 子ども会の現状・課題

- 子どもが少ない
  - ・そもそも子ども自体が少ない
  - ・子ども会がないと子どもの集まる場がない
- 親が負担を嫌う
  - ・役員を嫌がる親
  - ・親が子どもの能力（コミュニケーション能力）を伸ばす邪魔をしている
  - ・親が自分の都合を優先させている
  - ・親は役員をやりたくない
  - ・親の考え方を変えていく必要がある
- 他の予定と予定が被る
  - ・習い事（スポ少）とのスケジュールが合わず、行事日程を決めにくい
- 自治会が運営
  - ・子ども会独自で運営ができず、自治会が主に運営を実施している
  - ・保険が問題でラジオ体操ができなかった  
⇒地域福祉活動だから保険の対象となるはず

### 連携できそうなこと

- ・老人いこいの家を子ども達に開放する
- ・ふれあい祭りで老人と共通するゲーム
- ・自治会のいろんなことに参加する
- ・子ども会の行事を親ではなく、老人会に運営していただく（子ども会員は参加する）
- ・子ども達には老人と接する遊びを考えてもらう
- ・グランドゴルフを子どもとプレーしてもらう
- ・（御門は）ふれあいまつりで協力している
- ・ラジオ体操は健康にもいい。連盟に入っている人は多い
- ・ハロウィンに取組んだ
- ・子どもにお菓子を渡したいお年寄りはいる

### クリアすべき課題は？

- ・広報が必要
- ・自治会が介入しないと難しい
- ・自治会で子ども会と老人会の話し合いを行う

### 解決策

- ・会長さんに連絡会に参加してもらう
- ・他の町内の役員等で会合に行き話す

### 具体的な取組み

#### ●ラジオ体操で連携

- ・ラジオ体操ができないか
- ・子どもだけでもラジオ体操に行けるように
- ・子どもが出てくれば何かもらえるとうい

#### ●子ども会ではなく、その他が主体となる

- ・コミュニティが主体となった活動への協力
- ・子ども会主体でなく、コミュニティで活動出来たらいい
- ・ラジオ体操、ハロウィン何か 1 つ→自治会（コミュニティ）主体で高齢者活かす

#### ●情報発信

- ・情報を発信する。知り合いに伝える